

## 第31回全国M式水耕技術研究大会名古屋で開催される！

この7月26日(火)名古屋駅前の名鉄グランドホテルにて第31回全国M式水耕技術研究大会が開催されました。折りしも台風が関東地方直撃となり、当日キャンセル者続出と大会関係者をあわてさせる一幕もありましたがそれでも約80名の参加者のもと無事開催となりました。石川保研究会会長挨拶に引き続き来賓を代表して東海物産青木専務の挨拶、優良団体表彰と進んでいきました。受賞団体は全国M式水耕研究会会長賞が北海道のJA東神楽蔬菜研究会水耕部会、30年にわたり北海道での水耕による

通年栽培体系を構築され、それを継続されていることが評価されたものです。もう一方のM式水耕研究所社長賞は愛知県刈谷市の石川農園、きゅうり一筋の専業農家さんで20年にわたり水耕きゅうりの生産を継続されていることが評価されたものです。

受賞2団体の事例発表、質疑、愛知県農業総合試験場園芸研究部長菅原講師による講演「今後の水耕野菜の発展方向」、弊社村井社長による近況報告、引き続いての懇親会と暑さに負けぬ熱い研究会でした。

菅原講師は 輸入野菜増加など施

設園芸を取り巻く市況が大きく変わってきている それらを認識して市場に合わせた特徴を持つ野菜生産・販売を生産者自体が考える時代(例えばサラダ用にセット物にして野菜出荷、夏場野菜品種検討とか)頭を使って対抗手段を真剣に考えていくことが大事と力説されていました。

また30年にわたり研究会会長の重責を担ってこられた石川会長から会長交代の重大発言、新会長水谷俊樹氏の紹介が行われました。石川会長本当にお疲れ様でした。水谷新会長よろしくお願ひします。(編集子)



石川会長挨拶



研究会会場



JA東神楽蔬菜研究会水耕部会



石川農園



懇親会風景



水谷俊樹新会長